

企画展「古文書で読む伊賀上野安政大地震」

- 展示期間 平成23年10月4日(火)～平成23年11月29日(火)
- 展示時間 図書館の開館時間内
- 展示場所 上野図書館2階展示コーナー
- 休館日 毎週月曜日、図書整理日(11月1日)
特別図書整理期間(10月19日～25日)
- 展示内容 別紙参照
- 主 催 伊賀古文献刊行会
共 催 伊賀市上野図書館

古文書で読む「伊賀上野安政大地震」の展示について

(今回の展示趣旨)

本年三月十一日(金)に東北地方でマグニチュード九・〇の未曾有の地震(東日本大震災)が起こり毎日のように被害状況が新聞等で報道されましたが、職者から災害防止について過去の地震から学ぶべきことがあったと言われています。過去の地震については、まず、古文書の活用があります。

伊賀市上野図書館には嘉永七年(一八五四)に起こった伊賀上野安政大地震(死者約六百人)に関する古文書が三点保管されています。

それ以外にも伊賀上野安政大地震が記載されている古文書があります。今回、「伊賀古文献刊行会」(会長 伊賀市教育長 味岡一典)及び伊賀市上野図書館では、この安政の大地震関係古文書を広く伊賀市民、防災関係者及び地震に関心ある方々に、まず見ていただき過去の大地震及び、その被害状況を知っていただきたいと思っています。

また、古文書に関心がある方にも古文書の実物を見ていただき研究の参考にしていただければとの趣旨で企画展を実施することと致しました。

(展示した古文書・絵図)

嘉永七年伊賀地方大地震略記

嘉永七年六月十五日の地震により、倒れた自宅の家屋の下敷きになった家族の救出状況が生々しく書かれている。

その他、伊賀地方の御城、町中の被害状況が簡潔に書かれている。

嘉永七年甲寅六月十三日大地震之控

嘉永七年六月十三日から十五日にかけての大地震による被害状況が書かれている。同年十一月四日の朝五ツ半(九時)に起こった安政東海地震及び津波の被害状況も書かれている。

安政年間地震三関スル記録

安政大地震発生日の嘉永七年六月十五日の地震発生時から安政四年にかけて、日記風に月日を追って生じた事柄を書き、更に、その関連記事が書かれている。

これにより、伊賀上野の災害状況及びその対応が明らかにされている。なお、嘉永七年六月二十五日の項には村の行政を支配する郡奉行の村の被害調査結

果も書かれている。

廳事類編 三重県指定有形文化財

廳事類編は、藩政の記録であり、宝永六年(一七〇九)から慶応四年(一八六八)に至る、藤堂藩政下のあらゆる事象の記録であり、伊賀の歴史にとつて、かけがいのない重要文献の一つである。

この原本は、昭和初期まで藤堂采女家に所蔵されていたが伊賀市在住の郷土史家、故・菊山当年男氏が縁あって所有され、当年男氏没後、上野図書館に寄贈されたものである。

この記録には、伊賀を中心に起こった嘉永七年六月の大地震の記録が書かれている。

伊賀上野東町文書

伊賀上野東町文書は、伊賀上野城下町の東町に居住する町人の町方文書で文化6年から昭和に及ぶ全五十六点からなる文書である。

この文書群の中に、伊賀を中心に起こった嘉永七年六月の大地震による当該東町の死人、怪我人、潰れ家等の被害状況が書かれている。

また、潰れ家の被災の状況が位置図で表されていることから被災当時の倒壊家屋の状況が視覚で理解できる。

伊賀国上野城破損之覚(絵図)

(展示の釈文)

展示した各古文書の見開き頁の釈文を展示しました。

(最後に)

今回の展示により災害当時のなまなましい状況を感じていただき、併せてその後の藤堂藩の復興対策に興味を持っていただくことで、今後の地震対策等に役立てていただければ幸いに思います。